

子どもの頃に見た古墳から 歴史の魅力を感じて教員を志した。

人文科学部 総合歴史学科 4年

山岡 真依さん

(岡山県立倉敷古城池高校出身)

岡山県中学校教諭 採用試験最終合格

中学生の頃から社会科の教員を目指していて、地元の大学の中からその進路にふさわしいと感じた就実大学を進学先に選びました。総合歴史学科は多彩なコースがあり、幅広く学べそうだと思ったのも理由の一つです。入学してみると先生と学生の距離が近く、きめの細かい指導やサポートが受けられる大学だと思いました。講義は丁寧で、分からることはいつでも質問できる雰囲気があります。

4年間でもっとも力を入れたのは卒業論文です。岡山県の豪族である和氣氏について、和氣清麻呂の中央への進出方法などを中心に考察しました。大学の図書館には地元の歴史に関わる史料が豊富で、研究にはとても役立ちます。



私の軌跡

1年次

歴史まなび入門でレポートの書き方や参考文献の選び方などを学んだ。

2年次

歴史を学ぶ上で必要な、古文書などの史料を読み解く基礎知識を養った。

3年次

模擬授業を体験し、学生同士のアドバイスなどから自分の課題を見つけた。

4年次

教育実習を通して、教員への思いがさらに強くなった。現場の先生方から多くのアドバイスを受けた。



史料を読み解き現地で見る。 その姿勢が業務で生きる。

人文科学部 総合歴史学科 2008年 卒業

小林 菜美さん

(岡山県／就実高校出身)

公益財団法人岡山県郷土文化財団 勤務

大学で何を学びたいかをじっくり考え、オープンキャンパスなどにも参加した上で就実大学への進学を決めました。日本中世史に興味があったのと、キャンパスの雰囲気が気に入ったこと、総合歴史学科の先生の説明が丁寧だったことが主な理由です。ゼミの先生には今でも公私にわたりお世話になっています。

現在は岡山を代表する後楽園で、主にボランティアガイドに関するこども建物の特別公開、JRトワイライトエクスプレス『瑞風』の受け入れ業務などに携わっています。ガイドの育成にあたっては歴史をはじめとする15回の講座があるのですが、その際に大学で学んだ古い史料や文献を読むスキルが大変役立っています。400年という歴史ある場所であり、お客様に対してもガイド育成に対しても自分自身の知識が重要で、日々の勉強を欠かさず業務に取り組んでいます。

Message

卒業生メッセージ



卒業生

高梁市歴史美術館(学芸員) 勤務

総合歴史学科 2016年卒業 西 雄大さん（岡山県立高梁高校出身）

展覧会のテーマを決めて展示資料や美術品を選び、それらを調べて紹介する学芸員業務の基礎は、卒業研究を通して身に付けました。本学では、最も興味のあるテーマを選んで研究できるうえ、文化財保護の心構えや、人前で落ち着いて解説する技も養うことができました。

—(Story 私の就実ストーリー)—

2
年次
：

学芸員の仕事について関心を持ち始める。

授業中や休日に県内外の博物館・美術館を見学。3年次には高梁市教育委員会でインターンシップを経験。

4
年次
：

卒業研究を通して学芸員としての基礎を修得。

ゼミの仲間や先生のアドバイスをもらいながら1つのテーマについて調査研究を行い、卒業論文にまとめる。

就活中

公務員にも役立つ面接練習を重点的に。

就職活動と公務員試験勉強を両立。キャリアセンターの面接指導により落ち着いて面接に挑むことができた。